

授業科目名	医療安全	担当教員	◎渡邊八重子、休波茂子 古谷直子、高橋静子
必修	開講年次：2年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

安全な医療を提供するための組織としての取り組みと看護における安全対策についての知識と技術を修得する。医療機関における安全対策、院内感染予防対策、安全文化についての基礎的知識を初め、看護における安全対策、感染予防対策について学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 医療安全が注目されている理由について説明できる。
2. 医療事故の定義や分類について説明できる。
3. 医療機関における安全文化とは何かについて説明できる。
4. 事故発生のメカニズムについて説明できる。
5. 事故発生の予防対策について説明できる。
6. 集団感染のメカニズムについて説明できる。
7. 集団感染の予防対策について説明できる。
8. 医療人として安全に実践してゆく心得について説明できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|---|---------|
| [01] 安全管理 (Safety Management) と感染管理 (Infection Control) | (休波) |
| [02] 集団感染メカニズムとスタンダードプリコーション | (休波) |
| [03] 手洗い法 (1) | (渡邊・休波) |
| [04] 手洗い法 (2) | (渡邊・休波) |
| [05] 感染管理看護師の役割と実際、講義に関するグループディスカッション | (古谷) |
| [06] 医療安全が注目される理由、学生が医療安全を学ぶ意義 | (渡邊) |
| [07] メディア事例を通して、医療事故が及ぼす人々への影響について
グループ・ディスカッション | (渡邊) |
| [08] 日本医療機能評価機構、看護師の起こす事故についての調査 (渡邊) | |
| [09] 事故発生のメカニズム (スイスチーズモデル)、
ヒューマンエラー (レヴィンの行動の法則) | (渡邊) |
| [10] 事故防止策 (KYT を用いた事故の発生回避) 事例検討 | (渡邊) |
| [11] 事故防止策 (p-mSHELL を用いた事故の再発防止) 事例検討 | (渡邊) |
| [12] 事故防止策 (TeamSTEPPS を用いた安全文化の醸成) | (渡邊) |
| [13] 事故防止策 (TeamSTEPPS を用いた安全文化の醸成) 事例検討 | (渡邊) |
| [14] 医療機関における安全管理者の役割と実際、講義に関するグループディスカッション | (高橋) |
| [15] 医療安全に関わる法規、まとめ | (渡邊) |

【教科書】

指定なし

【参考書】

- 1) 河野龍太郎 (2004) 医療におけるヒューマンエラー、医学書院. 東京慈恵会医科大学付属病院
- 2) 医療安全管理部 (2012) チームステップス[日本版] 医療安全-チームで取り組むヒューマンエラー対策、メジカルビュー.
- 3) 出河雅彦 (2009) ルポ 医療事故、朝日新書.
- 4) 洪愛子編集 (2006) 感染管理ナーシング、学研マーケティング.

【評価方法・評価基準】

筆記試験 80%, 課題レポート×2回 20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：基礎看護学臨地実習 I を想起し、医療施設で起きうる医療事故や医療関連感染について考えてみる。

【教育目標 (必須要素) との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは授業中に傾向について示しフィードバックを行う。

【備考】

臨地実習において、学生も医療チームの一員であり、安全で質の高いケアの提供に努めることが求められる。本講義で得た知識・技術を臨地実習で活用できるよう学習に取り組むこと。